



京都部部報



BULLETIN

第2号 / 2007.2 発行

西日本区理事主題
国際会長主題
アジア会長主題

京都部部長主題 『百花繚乱 - 京都部 - 』
One for all, all for one 「一人はみんなのために、みんなは一人のために」
Active Participation with Love 「愛をもって 積極参加」
Participation and Inspiration 「参画、そして感動を！」



「2006～2007年度下半期を向かえるにあたって」

第11代京都部部長 大槻 信二
(京都センチュリーワイズメンズクラブ)



上半期を振り返って、とっても嬉しいことがあります。それは、今期の事業を計画する段階で、過去の実績をもとに参加人員などを算出していたのですが、ことごとく予想が良い方にはずれ、総ての事業に多くのメンバー・メネット・ゲストの皆さんが、参加して頂いたということです。時には、会場のキャパシティーを気にしなければならないという場面も何度か経験もしました。「クラブの枠を超えた交流」をお願いしてスタートした今期の京都部にとりましては、この上ない喜びです。又、1月18日の自クラブを最後に、18クラブ総て

を公式訪問させて頂き、各クラブ独自のカラーに富んだお持て成しを頂きました。ありがとうございました。

一方、下半期は、後期半年報において期初対比マイナス3名からのスタートという厳しいものとなりました。西日本区においても、皆さんご存知の通り、昨今、財政面の問題が大きくクローズアップされる様になりました。私自身は真にワイズ活動の発展のためであるのならば、必要な区費の改定は喜んで応じたいと考えていますが、併せて、京都部が500名を超え、区が2000名を超えれば財政問題も問題ではなくなります。

もちろん、その用途が効率的・妥当であることは、常に注意しておかなければなりません。京都部においては、現在各クラブの皆様の燃えておられる様子を拝見する限り、又、一人一人のメンバーの皆さんが、ワイズライフを楽しんで頂いている限りは必ずや、500名どころか「京都部1000名」が実現する日が来ると確信し、下半期の事業にも、皆様共々、邁進して行きたいと思っています。宜しくお願い致します。

「下半期に向けて」



次期京都部長 新山 兼司

今期、大槻京都部部長の元、次期京都部部長として、京都部の活動や西日本区の現況を大変多く学ぶ機会を与えられた事に感謝致します。京都部は西日本区に於いて最大のメンバーを誇る部です。

下半期に向けて現況を維持するのではなく、更なるステップと共に会員増強を目指すことによって意義有る起爆剤となる事を願っています。

それぞれのクラブが更なる飛躍をされ、京都部の感性と高い能力を持っておられるワイズメンと共に切磋琢磨し、大きなちからを発揮しましょう。



直前部長 古田 裕和

早いもので京都部第11期も下半期に突入しました。下半期もYMCAチャリティーランをはじめとして、各クラブでもまだまだ事業があると

思います。当然事業も大事な部分ではありますが、やはりメンバー増強が一番重要なことではないかと思えます。もちろんメンバー増強については各クラブそれぞれが重要課題として挙がっていることだと思えますし、色々工夫や努力を重ねられていると思えます。しかしなかなか難しいのも事実です。部を通じて、また各クラブ同士でいろいろ情報を交換したりしながら少しでも良い方向に向くようにしていきます。今期のEMC主査の主題は「キャッチザ・500」です。また、西日本区でも「2000推進チーム」が立ち上がりました。残りの4ヶ月、肩の力は抜いてワイズのアピールに頑張りませんか。



監事 渡邊 公生

一年の時間の流れの速さを痛感しています。今期が京都部の役員として最終の年度、最後をきっちり納めようとスタート致しましたが、あっという間に2月に突入してしまいました。なぜなのかと考えてみると、

繰り返し開催される事業におかれて、じっくりと未来を見つめる時間がないと言う事に気づきました。後半はゆっくりとワイズの未来を見つめてみたいと考えています。



Yサ・ユース主査 林 良廣

今期の事業は、2本柱を掲げてまいりました。1つは、第37回全国リーダー研修会、2つは、第3回京都YMCAインターナショナルチャリティーランです。10月8日の全国YMCAリーダー研修会には、約300名もの参加者(リーダー・YMCA・ワイズメン・メネット・コメント)が世

界の料理作り、楽しい交流会が出来ました。これは各クラブのご協力があった事です。本当に有難うございました。さて下期は5月20日に第3回京都YMCAインターナショナルチャリティーランが行なわれますが、チャリティーの目的は、YMCAが主催・共催する障がい児のプログラムを支援するための資金を集め、共に生きる社会を目指す。という目的で行われます。すでに第1回目のチャリティーランに向けての説明会を2月2日にYMCA三条本館にて行いました。次回からは各クラブのメンバーの皆様と一緒にチャリティーラン成功に向けて、頑張ってもらいたいと思います。どうか各クラブの皆様のご協力をお願いいたします。



地域奉仕主査 加藤 隆司

11月5日のワイズデ - では国際協力募金をYMCAと京都部共催で行いました。10月6日に第1回、11月17日に第2回、HIV/AIDSワークショップをそれぞれ行いました。半

期を終えてすぐ、1月21日(日)CSチャリティーホリウグ大会を、ウエストさんの行届いたホストにより約220名の参加を頂きトラブルもなく盛大に楽しく行う事が出来ました。参加の皆様のご協力により、200,085円、YMCAに献金いたしました。2月18日には京都部ワイズデ - を実施いたします。私達ワイズメンのTOF事業のもとで全世界のワイズメンによって実践される世界統一事業HIV/AIDS現代世界では大問題でのエイズ、日本では薬害裁判が解決を見た後メディアも積極的に取り上げなくなった他人事の様なエイズ。しかし現在は京都でも確実に広がりを見せ始めています。そこで今回HIV/AIDSワークショップではエイズに関する知識を自分自身の意識に落とし込む事、このエイズの時代の若者をどう支援して行くか?をテーマに行います。いい形で次期につなげたいと思っています。それから、CS、TOF、FF 献金へのご協力も宜しく願います。残り4ヶ月頑張ります。



EMC主査 岸本 伸也

上半期を振り返りますと、主題に掲げた「キャッチザ・500」を実現すべく各クラブ純増3名の活動方針において、まず交流会では京都部内の垣根を超えた親睦が出来たと

喜んでおります。しかし、上半期は半年報ベースで3名減の結果となっております。18クラブで11名の入会はあったのですが、それ以上に14名の退会がありましたので下半期は、マイナス3名からの巻き返しとなっております。いろいろな状況下でノンドロップは避けがたい現状であり、やむを得ないところかも知れません。ですが、将来に向けて各クラブにおいてメンバー増強は不可欠でありEMCは必要と考えております。そこで、今回広報のご協力得て京都部のHPに入会案内のボタンを設定して頂いて

おります。各クラブのHPにもリンクしていますので、少しでもメンバー獲得のお手伝いになればと考えておりますので、皆様、後半もご協力の程よろしくお願ひいたします。



「ファンド！ 一発！」
ファンド主査 柳 慎司

ファンド主査を拝命し、前半期が過ぎました。主査として、部内メンバー・部に対して貢献出来ただろうかと自問自答がつのります。京都HPの主査ページにて、BF・EF・JWF等の用途について、出来るだけ情報を記載させて頂きました。たかが古切手されど古切手です。一円・1ポイントが塵も積もれば山となり、世界中のどこかで役にたち、助け合いになります。我々は国際クラブメンバーである事を再認識頂き、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。また、部内クラブファンド事業の情報を収集するため、「ファンドアンケート」を実施させて頂きました。是非他クラブと情報を交換して頂き、活性化して頂ければ幸いです。

3月の強調月間であるEF(国際ワイズダム発展のため積立金)・JWF(西日本区ワイズ運動の奉仕活動を支える基金)のご理解とご協力を頂き、3月末締切のBF切手もあわせて必ずご区へ送金頂きます様お願いします。



交流主査 村田 嘉樹

八月に韓国釜山で行われた国際大会に参加し、トップスクラブのIBC交流に同行させて頂き交流事業の素晴らしさを体現し、交流事業の楽しさを強く感じました。国際交流、国内交流を問わず一人でも多くの方に実践していただきたいと思いました。IBC、DBC、YEPP、STEPをしていないクラブや個人の方に出来るだけ交流をしてもらえよう下半期も活動していきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。



広報主査 荒川 徹

あっという間に半期が過ぎてしまいました。前期に同じパレスクラブ所属の山本ワイズに京都部のHPの基盤を構築していただき、その後を引き継がせて頂きました。前半では、各クラブの京都部HPの閲覧状態の確認と啓蒙、後半に掛けては、京都部HPへの入会案内のアップを実行していきます。また各主査様、各クラブとも連携し、活動の広報も行っていきますので、ご協力をお願い申し上げます。

西日本区におきましては、京都クラブがミニFM局を活用し、ワイズ活動をされているラジオカフェが紹介されました。

あと半期ですが、皆様のご協力のもと、頑張っていきますので、宜しくお願ひ申し上げます。



メネット主査 赤松 好美

今期「参加して楽しもうワイズ活動」としてスタートを致しました。早いもので今期も後4ヶ月余になりました。京都部部会や他クラブのメネット例会への参加等、私にとって初めての事ばかりでした。他クラブを訪問してそれぞれクラブの雰囲気ちがう事を体験し、とても良い勉強になりました。そして今度は、京都部合同メネット会を2月24日開催致します。まずはじゅんぴとして、1月27日に合同メネット会でお渡しするお土産を参加クラブ6クラブ15名のメネットの方々を作って頂きました。ご協力ありがとうございました。合同メネット会では、クラブを越えたメネットの交流が出来ればいいなあとと思っています。楽しい合同メネット会にしたいと思います。

これからも出来る事を無理せず小さなメネットの輪を作って行きたいと思ひます。メネットの皆様、宜しくお願ひ致します。

統括連絡主事 西岡 義郎



大槻部長のリーダーシップのもと、京都部が役員の皆様が、それぞれの持ち味を活かし、事業が進んでいますことに感謝者致します。今年度京都YMCAが主管致しました「全国YMCAリーダー研修会」においては、京都部・各クラブのご支援がYMCAとワイズの協力関係の一つの見本として素晴らしい実績を全国のYMCAに残していただいたと御礼申し上げます。

学生ボランティアの皆さんには、常々リーダーシップとは、個人の能力だけのことでなく、構成員のそれぞれの能力が発揮され合う状態のことだ、説いています。そこには所属意識が生まれ、喜びが有ります。

子どもたちの手本となる学生、学生たちの手本となる成人としてのワイズであり続けたいものですね。



書記 山崎 育男

初めて京都部書記職をさせて頂いた、他クラブ会長や主査・役員の方々と少しは交流が出来たかなと感じています。前半は京都部集会や部会のホストとであっという間の半期でした。後期も行事が沢山ありますが頑張ります。そして次期京都部にしっかり引き継ぎたいと思ひます。



会計 片山 吉章

京都部会計という重責につき半年が過ぎややホッとしております。それぞれのクラブの会計の方々には京都部部費納入に際しまして多大なるお世話になり誠にありがとうございました。下期部費の納入期限は2月末日でございます。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

「京都クラブの半年」

京都ワイズメンズクラブ
会長 石若義雄



京都クラブは京都Y M C A支援を前面に打ち出し、活動をしていく方針で進めてきています。具体的には、Yサ委員会を中心に企画、活動をしています。活動に必要な資金についてもファンド委員会の協力が欠かせません。

Y M C A支援の一つとして、Y M C A三条本館に人を呼び、Y M C Aを知っていただくことを目的とした、事業がいくつかあります。その一つとして、祇園祭の宵々山の日にY M C A三条本館の前で飲み物とから揚げやカキ氷の夜店を開いています。今年度はトゥービークラブも加わっていただき、子供たちも楽しめるように1階のロビーでゲームコーナーも併設していただきました。Y M C Aの前で道行く人の足を止め、団扇の配布（Y M C Aの宣伝）も行いますが、売り上げをY M C Aに贈呈することも目的の一つです。

またクリスマスシーズンには、Y M C A三条本館の正面にクリスマスイルミネーション飾り付けを行っています。Y M C AのCの喜びを広めることも大切なことと、毎年のことですが道行く人にアピールをしたいと行っています。最近はLEDも安くなってきましたので、古くなった電球も取り替えながら徐々に電飾の数も増やして行っています。6mの電飾のツリーは重く、屋上から吊り下げる方法も建物を傷めないための工夫や工法には、毎年多くの知恵を絞ってきています。そしてCをもっと楽しくしようと、クリスマスシーズンにY M C A 1階ロビーでコンサートを行っています。ここ数年は、Y M C A会員クリスマスとジョイントの企画ですが、今年度はセンチュリークラブさんも企画に賛同していただき、2日連続してクリスマスロビーコンサートが開催されました。希望は、1週間連続でY M C A 1階のロビーでコンサートが開催されることを望んでいます。

また一方では、広報委員会の企画によるFMローカル放送の「ラジオカフェ」でY M C Aとワイズメンズクラブの広報を行っています。毎月第3月曜日の

正午から15分の放送ですが、今期一年間続けようとはがんばっています。受信できる地域に制限もあるようですが、毎月の事業予定もラジオで流していました。クラブで支援をしているのこの電話のガレージセールをアピールしました。ガレージセールでは会場設営と焼きそばの店ですが、ラジオを聞いた人には値引きをしますとアピールしたのですが、ラジオを聞いた方はありませんでした。少し残念な結果でした。

また京都Y M C Aのホールを借りてダンスパーティーを定期的に開催（現在までに8回開催）しています。会場準備にはクラブ員の他、国際リーダーからもお手伝いを頂き、ダンス指導もクラブ員が行うため、参加料を低額に押さえ込むことができ、収益金は、Y M C Aに寄贈することにしています。今ではリピーターも多く、新しいプログラムに発展できればよいかとも考えますが、企画を通してY M C Aの存在を広く知っていただいていると思います。

その他、クラブとしてY M C Aの事業には積極的参加を図っています。

京都クラブのプリテンは、パソコンで編集し、プリントアウトまですべて手作りで制作しています。内容についても、全国のワイズの方々に見ただけの努力を惜しみません。2月には、Y M C A日本語科の修了に併せて生徒の作文を文集にまとめ、修了文集として製作することも全て手作りの製作で記念にお渡しいたします。外国から来ている学生たちが自国に戻ったときに文集をみて、一人でも多くの留学生が京都Y M C Aを思って来て頂ければとの思いを込めて作業を行っています。毎年同じような事業の結果となっていますが、事業については一つ一つ企画をし、実行の後の考察を欠かしません。事業の持つ意味と求められるものと、私たちが出来ることを確かめながら行うことが、大切なことだと確信しています。考えつつ前進。

「2006年前期活動特記事項報告」

福知山ワイズメンズクラブ
会長 小林 敬明

1. 7月24～25日

第21回クリーン弘法川&魚つかみ大会

福知山クラブのメイン事業である「クリーン弘法川&魚つかみ大会」も第21回目を迎えて地元に着し、猛暑の7月24日YMCA会館前を流れる京都府1級河川約250mを地元子供会、自治会、ワイズ・YMCAスタッフ、そして5、6年来の支援ボランティアの京都北都信金、京都府中丹西土木事務所など総勢160名によるクリーン作戦を展開し、草刈やゴミ、缶拾い作業に汗を流し夕方には見違えるように美しくなった。「弘法川をきれいにしよう・魚つかみ大会」の横断幕とワイズ・YMCAのバナーもさわやかにたなびき、子供達と大人の協同作業の成果にどの顔にも満足感が溢れました。

翌25日は、「魚つかみ・金魚すくい大会」を子供約80名の参加で実施、弘法川をせき止め、鮎150匹、うなぎ30匹を放流、低学年から順番に川に飛び込み我先にと網ですくったが、生憎の梅雨後の大水量でなかなか網に入らず、スタッフの巻き網の助けも受けながら長時間の魚とりを興じた。



また、YMCA会館前では、今年日本宝くじ協会から寄贈されたばかりの大型テントの下で幼児達がお母さんの助けも借りながら「金魚すくい」に時間の経つのも忘れ親子共々楽しんだ。

2. 9月30日

福知山国際ネットワーク協会の料理教室支援

例年同協会より支援の要請を受け、今年もワイズ・メネット6名が参加支援した。当地は京都創成大学の留学生も含め約500名余の外国人が在住しているが、毎年交流事業の一環としてお国自慢の料理講習で交流を深めている。今年は、ネパール、ミャンマー、モンゴルの家庭料理を外国人10数名を含む40数名の参加で片言の外国語も交えながら料理作りに興じ、一緒に慣れない味ながら楽しい食事交流を深めた。後、地元女性音楽有志によるコンサートや夜久野茶道会による抹茶の接待も受け日本文化と外国文化の有意義な交流会となった。

3. 前期例会出席 100 達成!

今期は、少人数クラブの特性を活かし、出席率だけはクリアしようと思わず欠席の場合もメイクアップにより一先ず前期は出席 100 達成出来た。後期も同様頑張り、全期で 100%クリアしたい。

次に、今期の最重要課題の会員増強であるが、残念ながら前期ゼロであり、11月・12月例会の一般参加の中からアタックして新規加入に結び付けたい。

上半期事業報告「オータムフェスタ」

京都パレスワイズメンズクラブ
会長 井上 彰

今期YMCAをサポートする意味あいで、オータムフェスタを振り替え例会にし少しでも多くのメンバー参加を求めました。

そして同じ参加をするのなら何かアトラクション

を企画してイベントを盛り上げようと言う事になり、綱引き大会をオータムフェスタ実行委員会に提案し承認して頂きました。

承認して頂いたもののどれくらいのクラブが参加して頂けるか未知数だったものですので、参加要請のメールや各クラブに対する例会でのアピールを行いYMCA、京都部、在京各ワイズメンズクラブで、13チームの参加をいただきました。

当日は、少し雨が降ったものの綱引き大会はたいそう盛り上がり子供チームが大人のチームに勝ったり、一生懸命、綱を引くワイズメンの姿や応援をして頂いているメネットの姿が印象的でした。結果は予定どおり、我がパレスクラブが優勝し賞品をYMCAに寄贈させて頂きました。後日、筋肉痛でお困りなったワイズメンがたくさんおいでになったようにお聞きしております。



下半期の抱負につきましては、引き続きクラブの活性化を、念頭におきクラブ運営を行い、YMCAサポートでは昨年同様チャリティーランに力を入れようと思っております。

「半期を終えて」

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長 河合 久美子

ウエストクラブでは、前半期、クラブ内において、特徴的な例会を多数行ってまいりましたが、最も力を入れ、盛大に執り行ったのが、11月に京都国際ホテルにて開催いたしました「広報100人例会」です。他の奉仕団体に比べて、知名度が低いと思われるワイズメンズクラブを、もっと広く外部にアピールし、興味を持っていただく最初のきっかけになれば・・・と、広報委員長の発案により、期首の事業計画で予定を組み、会場を手配し、メンバー全員の協力にてこつこつと集客を行いました。その結果、102名もの方々にお越しいただくことができ、ゲストスピーカーに、ファイテン株式会社の平田社長様をお招きして興味深いお話を伺いました。当日は、ワイズメンズクラブやウエストクラブを紹介するチラシを配布し、口頭でもアピールに努めましたので、初めてワイズの

例会に来られた方にとっても、何かしら「ワイズ」が心に残り、印象付けられるものがあったことと思います。

また、クラブ外においては、地域奉仕事業に関し、11月26日に西院中学校にて開催された、「みやこ共同作業所」の「ふれあいまつり」のバザーに、ウエストクラブとして初めて参加し、屋台の出店をいたしました。ウエストクラブの地域奉仕事業としては、洛西の「平安徳義会」のサポートを長年行っていますが、今回は、メンバーのコメントが作業所に通所されているご縁でお話を頂戴し、初参加となったのでした。大規模な地域に根ざしたイベントに加わらせていただくことができ、クラブとしても意義深かったものと思います。



お蔭様にて、前半期を無事終えることができましたが、後半期も大きな事業が控えています。京都部CSチャリティボリング大会のホストや、台湾・韓国のプラザークラブとのIBCトライアングル交流会などです。メンバー増強に本腰を入れ、クラブ内の諸問題にも心を配りつつ、後半期を悔いのないよう過ごして行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「前期活動報告」

京都めいぶるワイズメンズクラブ
会長 松村 康弘

めいぶるクラブにとって事業が集中する前期を無事に乗り切れクラブのメンバーをはじめ皆様に感謝致します。

6月下旬のリトリートセンター夏期準備ワーク事業より始まり、引き続きYMCASABAワークなどYMC A・京都部・めいぶる独自の事業と多くの事業に携わって来ました。今期の新しい参加事業として京都部が主催された全国リーダー研修会も在京ワイズの多くのワイズメンの参加が有り、ボランティアリーダーたちの希望に燃えた明るさに触れ改めてYMC Aをサポートする意義を実感出来た事業であったと思います。

今期の独自事業としては、特に新しい物はありま

せんが、クラブの地域奉仕事業として10週年来サポートしている社会福祉法人西陣会の「ふらっと」事業、また、20年来続いている養護施設積慶園へのサポートはYMC Aの事業参加とは違った感動を何時も我々に与えてくれています。



特に養護施設積慶園への日本海キャンプのサポート・YOU友フェスタへの模擬店参加は、直接養護施設の子供達と交流、先生方から直接お話を聞くことが出来、現在ニュースでも報道されている子供達の置かれている社会状況を理解でき考えさせられることが多く有ります。継続は力なりとの言葉があるようにめいぶるとしてこのような事業が継続できることは、非常に幸せに思います。

後期の大きな事業としては、4月の三国IBC会議・三国合同例会をホストします。これに向けメンバー全員で取り組みたいと思っております。

まだまだ事業も多く今期の主題「原点を見つめて更なる発展を」をスローガンに楽しい例会作りメンバーの事業への積極的な参加を促して行きたいと思っております。京都部・在京のクラブの皆様には引き続きお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

「21年の歴史」

京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長 大門 和彦

上期を振り返ると毎年の事ながら、さまざまな事業や行事をやってきました。その中でもキャピタルクラブが独自で行い21年の歴史のある行事が「ふれあい広場」です。

この「ふれあい広場」は京都視覚障害者協会・伏見支部（以下、京視協）の方々と、それをサポートするご婦人の団体「桃山こおろぎ」、そしてキャピタルクラブの3つの団体が三位一体となって行う毎年恒例のイベントです。

今年で21回目を迎える「ふれあい広場」は、万博公園内「国立民族博物館」で行いました。博物館では世界で最初に作られた点字や京都市内の地図（凹凸があり触れてわかるもの）の展示もあり京視協の方々は本当に熱心に観察されていました。昼食を挟み午後からは京視協の方々とキャピタルメンバーがマンツーマンになり万博公園内を散策！我々からす

ると「散歩？楽しいのかな？」と思いましたが、むしろ博物館にいる時より屋外のほうが楽しそうにされていたのが印象的でした。1時間程の散策で色々な事を考えさせられることもあり非常に勉強になりました。我々、健常者は普段の生活の中で“音”に関してあまり意識をしていません。しかし京視協の方々にとっては“音”＝“安全”なんです。



公園を散策していても私には「鳥のさえずり」さえ聞き逃しています。「大門君、少し待って！耳を澄ましてごらん？」「あの泣き声はうぐいす・・・」なんて数種類の鳥が生息していることも教えて頂きました。葉っぱに触れては「 の木」と答えられ本当に興味しました。一つの感覚を研ぎ澄ます事ってこのようなことなのかも知れません。漠然と生活をしている我々の「集中しろ！」とは口ばかりで本当の集中することは「一つの感覚を研ぎ澄ます」事かも知れません。このイベントに当り安全確認するために何度も下見に行っていた「桃山こおろぎ」の方、そして当クラブの地域奉仕委員長に感謝します。

あと半年！二度とない「会長」という立場を楽しみます。

「上半期を振り返って」

京都プリンスワイズメンズクラブ
会長 小泉 洋

今期をプリンスの「特異点」にしようという事は、基本的にはメンバー各自が意識の持ち方を再確認してもらう事です。この考えに沿って、上半期は例会・委員会事業活動を展開しました。国際大会参加旅行、メンバースピーチ、EMC 交流会、EMC アワー、多くのメンバー候補ゲスト参加の20周年記念例会等です。

その中でも、設立20周年記念事業としての最大のプログラムである韓国プサン国際大会参加旅行を、8月に実施しました。前期の下半期からの20周年記念事業実行委員会の周到な準備のもと、京都部からの参加数の半数近くになる19名のメンバーが参加し、ワイズがインターナショナルクラブである事を自覚出来ました。

メンバーそれぞれ国際大会での会議、夕食会、そし

て観光と楽しみました。外国旅行ということで、よりリフレッシュして、よりリラックスして、メンバーと一緒に行動し時間を共有出来た事は、クラブの活性化・一体化に考慮した大変有意義なものとなりました。

また、国際ナイト夕食会では、プリンスのロゴ等をプリントした「うちわ」200本を配りました。それからステージで、西日本区森本理事より何か出し物をと依頼されたパフォーマンスをやりました。それは、ラグビーニュージーランドオールブラックスの試合前の儀式「ハカ」で、森本理事の主題である「一人はみんなのために、みんなは一人のために」がラグビー精神そのものであるということで、それを形で表そうとしたものです。準備も含めて盛り上がり、パフォーマンスを成し得た達成感もあって充実した記念事業例会の一助となりました。



下半期に対しての抱負は、引き続き、今期を「特異点」とするために、メンバーの活動期間を量的に少なくする事業の例会振替、事業の選択と集中を継続し、参加しやすいようにして、メンバーが各自の力を信じて、クラブ全体の事として取り組み、また、楽しめる例会・事業となるようにする事です。そして、一人一人の行動指針を明確にする事によって、素晴らしい仲間達と手を携えて、限りない発展に向けて進んで行きたいと思えます。

「大仕事！ 部会を終えて」

京都センチュリーワイズメンズクラブ
会長 浦上 準之助

私たちの今期最大の責務は、何と言っても9月10日の第11回京都部部会のホスト・クラブをつとめなければならないことでした。おまけに？センチュリークラブの長、大槻ワイズは今期の京都部長、不祥ながらわたくしめは今期会長。肩にのしかかる重責感に食事も喉をとらない日々ひたすら耐えた部会でした（過重負担のストレスを忘れるためのアルコールは必須アイテムでしたが・・・）。しかし、一方で、絶対に失敗はできない！という思いがメンバーの気持ちをひとつにしたのです。恒例の納涼例会返

上でリハーサル例会とし、本番さながらの予行演習、入念な準備作業と大変ではありましたが、充実したクラブ活動になりました。今回は会場を琵琶湖にしたこともあり、参加申し込みが懸念されましたが、在京クラブにアピールに廻らせていただき、結果的には京都部のみならず他エリアからの参加も得て無事に部会を執り行うことができました。ワイズの同志の皆さんに心から感謝致す次第です。部会後の打ち上げは大盛り上がり。無事に終わったという安堵感からか、異口同音に自画自賛の声があがり、何とも言えない充足感を胸に帰路についた私たちでした。そうそう、大槻部長は緊張のあまり、挨拶に用意したカンペを3行読み飛ばし。ぶっつけ本番のわたくしの歓迎挨拶も長すぎて、録画ビデオから削除。でも、今となっては全てが良き思い出です。ワイズの皆様、本当に有難うございました。センチュリークラブは完全燃焼させていただきまし



た。さて、我がクラブの下半期。どうする?! 休む暇も無くクリスマス例会、新年例会。多望にかまけ、手が廻らなかつたEMC何とかしなければ...。3月にはメネット例会をひかえ、これをチャンスにメンバーの増強を図りたい。我々センチュリーの売りはメネットの底力です。メンは黙ってついてこい! をモットーに新年度に向けて新たに帆を上げて2007年のクラブ活動の始動です。

「前期活動報告」

京都ウイングワイズメンズクラブ
会長 谷口 豊

6月の第3週の障がい児福祉協会のプール開設ワークよりウイング今期の夏の過酷なワークがスタートしました。つづいてギブキッズ病院コンサート、リトセン・サバエの開設ワーク、その翌週には丹後半島の久僧キャンプ場の一泊二日開設ワークと毎週休むことなく繰り返されます。久僧での一日目のワークを終え、温泉に入った後みんなで車座になって飲みながらワイワイしゃべりだすと今期も順調にスタートをきれたなとしみじみ思いました。

8月のお盆明けからは、青い空と白い雲の一泊

二日キャンプ支援、衣笠授産所デイキャンプとサバエキャンプ場を舞台に連続で行われました。

青い空と白い雲のキャンプは、今年で4回目ですがウイングにとってはとても大切な支援事業に育ちました。病気のこども達やその兄弟20名ほどに対してボランティアスタッフ70名ほど(医療スタッフ含む)がそれぞれの持ち場を受け持ちながらこども達と一緒にキャンプを楽しみます。こども達の笑顔にふれ、さわやかな感動をもらえる二日間です。



衣笠授産所は、昨年まではバザーを一緒にやったり、クリスマス会を一緒にやったりと交流してきましたが、今年よりひとつ事業を増やして夏のサバエキャンプ場でディキャンプを一緒にしようと企画しました。日ごろ自分達で遠くへ行けない所員さんたちに観光バスで一緒に旅行気分移動しバーベキューやクルージングを楽しみました。

ウイングにとっても直接所員さんたちのお世話をすることで新たな気づきや感動をもらいました。

下半期もまだまだ車いす駅伝サポート・JOCSウォーカーソン・チャリティランなど事業が多く予定されています。一つひとつの事業を確実に大切に行いながら、ひとりでも多くのメンバーの参加を呼びかけ楽しみたいと思っています。

「今期会長 半期をおえて!!」

京都洛中ワイズメンズクラブ
会長 坂井 昇

昨年、七月に船出した洛中丸は、順調に航路を進んでいると、船長のわたくしは自負しております。

今年度の活動の柱としているIBC・DBC活動の活性化の第一弾として昨年の10月には、博多オーシャンクラブへの訪問をメンバーの協力のもと達成し今年度3~4月には台湾の大橋クラブへの訪問を予定しています。単に訪問しあうだけの交流ではなく何かお互いがY's Menとして協力できることは無いか模索している最中です。

そしてもう一つの柱・長年サポートしてきた『つばさ園』へのサポート強化化。というのは、残念な

がらメンバーの減退化により肥大化した活動をスリムにして今できることをしっかり集中して行おうと考えたからです。具体的な活動は省略しますが、計画どおりにすすんでいます。



そして肝心なメンバー増強ですが、残念ながらまだ新しいメンバーの入会は有りませんが、昨年 EMC 委員長の肝いりで行った EMC 例会でメンバー候補も集まっていた今フォローをしている最中です。なんとか入会していただければと思っております。これには、ウエストクラブ（親クラブ）・みやびクラブ（兄弟クラブ）と3クラブが協力して推進することを決議しています。

そして最後に明年1月15日に我クラブも20周年を迎えます。それに向かっていま着々と準備しております。在京のクラブや区のクラブにも協力頂き『地道に質実な』例会をと思っております。そして周年記念事業としてなにか「つばさ園」にできないか協議している最中です。現在メンバーは減少したとはいえ、20周年をほこる洛中の歴史・活躍されてきたメンバー・国際大会をサポートし、日本大会・京滋大会をホストした実績をもつ洛中ワイズメンズクラブ号の進路をしっかり舵をとって未来に向かって進めることを、心に誓ってこの報告を終えたいと思います。部長・役員そして、各会長のご指導をよろしくお願いいたします。

「前期を顧みて」

京都エイブルワイズメンズクラブ
会長 上澤 正廣

前期のトピックスと思い返せば、エイブルクラブの例会場として親しんでいた醍醐ホテルが2007年1月末日で閉館となるニュースでした。設立以来ワイズメンズクラブの南部地域の拠点として大いに利用させていただいていたホテルだけに残念でもあり寂しい限りの思いでした。

事業としては、10月29日(日)にYMCA リトリートセンターで開催した第2回「森の中の音楽祭」でした。エイブルクラブが総力をかけ、一般の人達、南部地域の施設の人達、ワイズメン、それに DBC

の富士ワイズメンズクラブにも PR し 120 名の参加で開催することが出来ました。富士クラブさんより 4 名の方が来ていただき交流事業としても意義深い 1 日でした。一つの継続事業となればとも思っております。その他にも宇治市の社会福祉協議会行事の福祉祭りにお餅つきでの参加、NPO 法人重症心身障害者通所援護施設（こもれび）の支援など継続してサポートしております。



活動を通じて宇治地域でワイズメンズクラブを理解して頂きメンバー増強に結び付けられれば幸いです。後半も EMC 事業に力を注ぎ、人と人との交流の輪を広げメンバー増強に勤めたいと思っております。

「半年を終えて」

京都グローバルワイズメンズクラブ
会長 高橋 明子

今期も昨年7月に始まり、もう半年がなくなってしまったという思いです。三役のメンバーに助けられ何とかここまでやってこられたと感謝の気持ちで一杯です。



今年の7月にはグローバルクラブも結成以来15周年目を迎えます。その記念アクトとしてカンボジアに学校を建てるという大きな目標を持っていますので、今期は各委員会でも最後の資金集めの為にいろいろなアイデアを出し事業を行ってきました。クラブ以

外の方にも活動を理解して頂くようにと携帯クリーナーを作り協力を呼びかけました。

ロゴマークの可愛さも有り多くの方からの募金を頂き感謝しています。その他には市役所前でのフリーマーケットに垂れ幕を掲げ参加したり、今期で3回目を迎えるクラブ恒例のリサイクルバザーなどメンバーがカンボジアの子供達の笑顔が見られるように頑張ってきました。

それに今期初めての新メンバーも加わり、ますますクラブも活気付いてきたように思います。もう少ししたら新たに新しいメンバーを迎えますが、ますますパワーアップ出来そうな気がします。

今後の活動としては、ゴルフコンペ(3月27日100人規模で予定しています。)、親睦旅行・支援している修光学園の方々との交流会などがあります。「楽しくなければクラブではない。」と例会で言ってきたのですが、その言葉通りますます楽しいクラブライフが出来、夢の学校が出来るように、任期の後半年メンバー共々活動して行きたいと思っています。

「前期活動報告」

京都みやびワイズメンズクラブ
会長 有澤 泰伸

今期のスタートが6月25日(日)サバエキャンプ場の「芝刈りワーク」です。サバエに対してはみやびの想いがありますので、まずこのことからお話しします。みやびクラブの5周年事業でサバエにどんぐりの森を作ろう、とのことでその当時各メンバーが「クヌギの木」を自宅で一年間育て、そして30年後に昆虫たちの棲みかとなるどんぐりの森に育つのを夢見て植樹を行いました。あれから早9年が経ちその間手入れは怠らずクヌギはすくすくと育っています。みやびの想いが現実に向け一歩ずつ歩んでいます。



前置きが長くなりましたが、7月9日(日)サバエワークで新品の「芝刈り機」を贈呈致しました(貴重な財源から)。一昨年に初めて芝が張られてから、みやび中原ワイズ(造園業)の芝刈り機を持ち込んで刈っていましたがこれでいつでも芝刈りが可能とな

りました(但し、道具の手入れは怠らないこと)。夏のプログラムで、子供たちが元気よく裸足で芝生の上を走り回る姿が目につかびます。これからも芝刈りのお手伝い、どんぐりの森の手入れとみやびファミリーでワークを行い又遊び心も忘れず楽しくサバエに関われればと思います。

後期に対しては、スタートから半年間ワイズ活動の大半が集中していて後期に入ると気が緩んでしまうのが会長の常ですが、ここはもうひと踏ん張り、やはりクラブ活性にはニューメンバーの加入が必要です。再度、メンバー共々目標に向け邁進したいものです。

「06半期をふりかえって」

京都さくらワイズメンズクラブ
会長(代行) 佐々木 稔

暗中模索のなかで動き出した今期も、ほとんど様子の変わらぬまま過ぎ去ってしまいました。いろいろ問題を抱えながらも一応メンバーを減らせることなく推移しました。何とか一名でも新会員を入会させようと準備はできました。いずこも同じような現象かも知れませんがメンバーの高齢化を避けることは出来ず、新入予定会員は若くはありません。

また、国際や西日本区で定められた送金等は速やかにすませることや、部に迷惑が及ぶ事のないよう心がけてきたつもりです。何といっても残念なのは実働人数が少ないために、規模の大きな事業に取り組めない事です。将来的にはなんらかの施策を講じる必要性をひしひしと感じます。クラブ内で取り組みができることでは、過去04年度BF献金の内のエンターメントファンド部門にさくらのメンバーの献金合計が2100\$でありましたが、このエネルギーをもう一度再燃させたいものです。



今期前半にはDBC締結をしている東日本区の三島クラブとの合同例会を京都で開催しました。9月22日の時代祭を楽しんで頂くことを中心に企画して実施、前泊組との交流にはじまり総勢18名の到着は柴田交流委員長が新幹線ホームで出迎え、佐々木会長代行と畑上副会長の引率により雑踏の中を京都御所の観覧席まで案内、三島メンバーの大きな荷

物は杉本会計が宿泊先ホテルへ届けるなど少人数での交流がいかに大変なものを実感しました。当日夜の例会はよもやま話なども含め、熱気のあるものでした。

楽しんで一年、苦しんで一年。クラブは楽しくなければ衰退するし、きれいなガラスのケースを少ない人数ながらも落として割らないように頑張ります。

「上半期報告」

京都トップスワイズメンズクラブ
会長 新山 堅一

トップスクラブは、次期京都部会をふまえて出来る限り上半期に新しい企画・事業を集中することを念頭におきました。中でも、キックオフ例会直後の



7月のJAZZ例会では、市川さん・小学生のプロドラマー鬼塚大我君をおむかえして92名の登録を頂き人の集える楽しい例会を開催することが出来ました。在京各クラブの会長はじめメンバーにたくさんお越し頂き皆さんのいい氣をいただきました本当に感謝致します。このJAZZ例会が12年間お世話になったニュー京都ホテルでの有終の美・最後の例会となりました。

8月からウェスティン都ホテルをホームグラウンドに心機一転真っ白な気持ちで新たなスタートをきりました。ウェスティン都ホテルにかわるにあたり親クラブであるキャピタルクラブはじめ・たくさんの方々に御尽力いただきました。想定外の中、急な展開に一時はどうなるかなと思いましたが人に支えられいい勉強・経験となりました。あらためてワイズは、人と人やなぁと実感いたしました本当に有り難う御座いました。やはり“ワイズは、人と人との交流”コンピューター・携帯電話の普及と共に情報のスピードがめまぐるしくはやくなり便利な時代ですが、あえて時間もお金もかかり非効率的なアナログ的なことかもしれませんが“古き良きもの”との融合が必要不可欠かと再度痛感いたしました・・・今までのスタンスに懺悔の日々です。

あとのこり半期ですが、第一に自分自身が楽しみ・

充実し終わったときの充実感・活力・自分自身が得るものを大切に吸収・パワーアップして“もっと楽しく・もっと前へ”向かっていきたいと思ひますしそれが奉仕・ボランティアにつながればもっと最高かななんて思ひます。

いまこそトップスメンバーの“熱い氣”を結集し＝“元氣玉”に！メンバー丸となってトップスらしい素晴らしいフェスティバルにしたいと思ひます。

「半期報告」

京都トゥービーワイズメンズクラブ
会長 宇佐美 賢一

私は今期“冒険～トゥービークラブの活動に100%満足していますか？～”を会長方針に掲げ上半期を終えました。

トゥービークラブの目的は、誤解をおそれず平易な言葉でいえば“他人と自分をわけへだてしない優しい・温かい心をもった人になろう。その人々の輪がひろがって行くことでより良い社会を目指そう”であります。その“目的”は気持ち(精神)の問題をいっているのであって、目的=ワーク(実際の活動)と短絡的に結びつけるものではなく、そういった気持ちを持てば、もしくはそういう目的があるという意識さえあれば、私はその人はすでにワイズメンだと思っています。



その後につづく具体的活動は、人それぞれの関心、思いの強さ、弱さによって力点がかわってくるでしょう。同じクラブのメンバーとはいえ、人それぞれ性分は異なりますので当然です。

例会の場で活躍する人、野外のワークで活躍する人、委員会で活躍する人、ファミリー例会で活躍する人、夜10時を過ぎると活躍する人、スポーツで活躍する人など個性があって当然。それぞれが自分の得意分野で活躍し、その人の姿を見てその他の得意でないメンバーも影響を受ける。クラブもメンバーも引き出しが一つよりもたくさんあった方がよく、そのためには一人一人のメンバーがクラブの“目的”をふまえ“何がしたいか”という意識をもってクラブで活躍し、またその活動を通じて互いの理解と自ら

の研鑽を深めていく。そういうことでクラブの幅が広がればさらに良いクラブになると思っています。私自身もあと半期でなにか一つクラブに“引き出し”をつくってみたいと思います。

また、そういう幅を広げる意味で近年減少していた今期女性会員増強をうたい、現在一名増となりましたが、女性会員だけでなく、たとえば団塊の世代で退職された方、20代の青年、主婦などいままで少なかったメンバーを積極的に取り込むことで、ワイズにとっても、ひいてはYMCAにとっても違った展開もあって面白いかもしれないと思っています。あと半期精一杯がんばりたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

「京都東稜ワイズメンズクラブ第3期前期」

京都東稜ワイズメンズクラブ
会長 市木 勝彦

前期東稜ワイズメンズクラブに於いては、「京都てんとう虫マラソン大会」も参加回数を重ねるごとに主催者側の立場に入り、障害を持つ人と健常者がともに参加して交流を深め、お互いの立場と環境を理解し、人間としての心を分かち合えることを学ぶ良き機会と考え積極的に行動し、てんとう虫マラソンが成功裏に終わった事。又、大会の企画運営に参加することで、ボランティアの本来の有り方を学習する機会となった。



京都東稜ワイズメンズクラブは、第2例会をクリーン例会と位置づけ、地域密着した活動を行うという基本理念から毎月第4日曜日に朝（AM8:00～）地元（山科区）の清掃を行っている。

後期、5月に行われるチャリティーランには、実行委員を1名京都東稜ワイズメンズクラブから積極的に参加する事にしている。

その他、地域密着型のワイズメンズクラブを作っていく事を重点目標にかかげ、地元小学校との交流が出来る様話し合う場を検討実施に移す。

「前期活動報告」

京都ウェルワイズメンズクラブ
会長 一瀬 倫

会長主題に『自己再発見』を掲げたのは、ワイズ活動において出会う多くの様々な個性や能力に触発されて自己を高め、そして新しい自分を発見しステップアップして行こうという思いからである。ウェルクラブのメンバーはユニークな個性・多才な能力を持った人間集団であり、例会、委員会、飲み会等どんな時でも他のメンバーから勇気と熱意を受け取ることができます。その相乗効果の結果、自己変革し、新しい自己を発見するというのが私の今期の熱い思いであります。

昨期同様今期も出来る限り、YMCA や京都部の諸事業には積極的に参加し、またこれらを例会扱いすることにより出席率を上げるよう、スケジュールを組みました。

七月のサバエワーク（第一例会）、八月の青い空と白い雲のキャンプ（第二例会）、九月の京都部会（第一例会）、十一月のオータムフェスタ（第一例会）、十二月のクリスマスキャロリング（第二例会）が実施できました例会です。他のワイズメンズクラブの方々と親しくなれることが出来たのも積極的に諸事業に参加した結果だと思っております。



後期につきましても YMCA・京都部の諸事業にはすすんで参加して行きたいと考えております。二月の車イス駅伝（第二例会）、四月の夜桜フェスタ（第二例会）、五月のチャリティーラン（第二例会）を予定しております。残る半年もメンバー丸となってすべてに楽しんで活動していきたいと考えおります。

次々期部長決定

2006年9月1日に告示いたしました次々期部長立候補につきまして、立候補者はございませんでした。京都部部則の定めにより、輪番クラブである京都ウイングワイズメンズクラブよりご推薦のございました

藤田 寿男ワイズ に

次々期部長を、お勤め頂くことと決定いたしました。

次期京都部役員体制

新山兼司次期部長のもと、2007～2008年度、京都部を率いて頂く役員の皆様が決まりました。

2007～2008年度京都部役員体制（敬称略）

役職名	氏名	所属
部長	新山 兼司	京都トップス
次期部長	藤田 寿男	京都ウイング
直前部長	大槻 信二	京都センチュリー
監事	古田 裕和	京都トゥービー
書記	乙坂 優次	京都トップス
書記(事務局長)	船木 成一	京都トップス
会計	笠井 俊明	京都トップス
統括連絡主事	西岡 義郎	京都YMCA
Yサ・ユース主査	竹田 博和	京都キャピタル
地域奉仕主査	上澤 正廣	京都エイブル
EMC主査	三村 良行	京都プリンス
ファンド主査	中村 豊	京都ウエスト
交流主査	二井 徹	京都グローバル
広報主査	森 康弘	京都みやび
メネット主査	加藤 智子	京都トップス

2007～2008年度各クラブ会長（敬称略）

クラブ名	会長のお名前
京都クラブ	鍵谷 将宏
福知山クラブ	浅尾 善逸
京都パレスクラブ	川上 孝司
京都ウエストクラブ	岩本 敬子
京都めいぶるクラブ	青木 繁幸
京都キャピタルクラブ	山田 隆之
京都プリンスクラブ	西村 博
京都センチュリークラブ	岡見 弘道
京都ウイングクラブ	中村 弘二
京都洛中クラブ	室田 博行
京都エイブルクラブ	大場 朗
京都グローバルクラブ	大岩 英人
京都みやびクラブ	前 登
京都さくらクラブ	佐々木 稔
京都トップスクラブ	宮尾 勝己
京都トゥービークラブ	山内 哲
京都東稜クラブ	小野 眞一
京都ウェルクラブ	松田 博一

皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

06-07 上期京都部の歩み

2006.06.18	第1回京都部評議会
2006.07.14	第1回京都部役員会
2006.07.18	公式訪問 京都キャピタルクラブ
2006.07.26	公式訪問 京都トゥービークラブ
2006.07.28	京都部メネット会長・連絡員会
2006.07.28	京都部EMC交流会
2006.08.09	公式訪問 京都グローバルクラブ
2006.08.11	第2回京都部役員会
2006.08.21	公式訪問 京都めいぶるクラブ
2006.08.22	公式訪問 京都エイブルクラブ
2006.08.23	公式訪問 京都パレスクラブ
2006.08.24	公式訪問 京都ウイングクラブ
2006.09.01	次々期部長立候補告示
2006.09.08	第3回京都部役員会
2006.09.10	第2回京都部評議会・第11回部会
2006.09.12	公式訪問 京都クラブ
2006.09.13	公式訪問 京都トップスクラブ
2006.09.19	公式訪問 京都ウェルクラブ
2006.09.20	公式訪問 京都プリンスクラブ
2006.09.28	公式訪問 京都洛中クラブ
2006.10.08	全国リーダー研修会・昼食交流会
2006.10.10	公式訪問 福知山クラブ
2006.10.12	公式訪問 京都東稜クラブ
2006.10.13	第4回京都部役員会
2006.10.18	公式訪問 京都みやびクラブ
2006.10.20	京都部広報委員長会
2006.10.26	公式訪問 京都ウエストクラブ
2006.11.08	公式訪問 京都さくらクラブ
2006.11.10	第5回京都部役員会
2006.11.17	第1回 STOP HIV/AIDS ワークショップ
2006.12.08	第6回京都部役員会

上記の他、Yサ・ファンド・交流・広報の各事業にて、アンケート他を実施しています。

第11回京都部部会決算

部会ホスト センチュリークラブより部会決算が、第5回京都部役員会に提出され、審議の結果承認されました。

収入の部

項目	金額
部会登録費	4,020,000
京都部部会補助	459,000
部評議会部屋代(部より)	20,000
ホストクラブ補填	204,786
計	¥4,703,786

支出の部

琵琶湖ホテル支払い	3,801,796
音響他	136,000
プログラム費(ギャラ含む)	380,000
印刷費(プログラム・名札 他)	79,800
アピール費(横断幕・看板含む)	306,190
計	¥4,703,786

下半期の予定

- 1月10日(水) 後期半年報〆切
- 1月12日(金) 第7回 京都部役員会
- 1月13~14 西日本区次期役員研修会
- 1月18日(木) 部長公式訪問 京都センユリークラブ
- 1月21日(日) CSチャリティーボウリング
- 2月9日(金) 第8回 京都部役員会(現・次期合同)
- 2月18日(日) 第3回 京都部評議会・ワイズデー STOP HIV/AIDS ワークショップ
- 2月23日(金) 京都YMCA創立118周年会員集会
- 2月24日(土) 京都部合同メネット会
- 2月25日(日) 全国車椅子駅伝競走
- 2月28日(水) 後期区費・部費納入期限
- 3月9日(金) 第9回 京都部役員会
- 3月11日(日) 2006年度卒業生リーダー祝会
- 3月17~18 西日本区次期会長・主査研修会(OMMビル)
- 3月30日(金) CS・TOF・FF・BF各献金納入〆切。EMCブースター賞基準〆切日
- 4月7~8 第3回 西日本区役員会 第1回 西日本区準備役員会
- 4月13日(金) 第10回 京都部役員会
- 4月22日(日) リトリートセンター夜桜フェスタ
- 5月11日(金) 第11回 京都部役員会
- 5月18日(金) 現・次期メネット会長・連絡員会
- 5月20日(日) インターナショナルチャリティーラン
- 6月1日(金) 第12回 京都部役員会
- 6月8日(金) 第4回 西日本区役員会
- 6月9日(土) 第2回 西日本区準備役員会、代議員会、第10回西日本区大会~10日
- 6月17日(日) 午前 第4回京都部評議会 午後 第1回京都部評議会(次期)

第12回京都部部会

9月9日
部会に全員集合!!